夕刊 磐城新聞
五月十五日發行
定價 一部金五錢 一ケ月金六拾錢（郵稅拾五錢）
廣告料金 普通欄 金六拾錢 雜報欄 金九拾錢（五號十二字詰一行）（場所指定一行 [illegible]）
編輯印刷兼發行人 柏木哲 福島縣石城郡平町 [illegible] 町十六番地
發行所 磐城新聞會社
[illegible] 電話五六四番
〔日曜祭日翌日休刊〕

隨筆 春空に書く
岡田宏

上

もう春だ

花が咲いて、散り始めると夏になる

總てのものが生存してると同時にそれは自然の原則として、絶えず繰り返されてゐる法則と、眞理である

夏は暑い、冬は寒い、そして今、四月の春、街を歩む人々の足も輕い

明朗の春なるが故である

櫻咲くニッポンの春なるが故である

全く花に醉ひ花に踊る春こそニッポン人の持ち得る最上の喜悅であり、快樂である

十八、九才頃の人間の青年時代を人生の春と呼ぶ

華やかな夢に醉ひ得る・幸福な時代こそ、こよなき人生ではある

然し、一九三四年の春の何と憂鬱なことよ。自然は反轉する

春のみが人生で有ることに無上の喜悅を持つ人間が必然的に萬物實る秋を持ち得ず自ら餓ゑ死ぬことは自明の理である

こうした事物の動靜を見ると僕達は、ヘーゲルの辨證法をレーニンの唯物史觀を見る迄もなく、歷史に時代色をと言ふより、むしろ人間に年齡により色んな風に物を見る目が違ふやうにそれぞれ世紀による完成された社會を更に其れより生れ出づる新たなる社會を生む母性のなやみを持つものである事がわかるやうにおもふ

一九三四年の現在を、資本主義社會の、らんじゆく期で有ると謂ふ

地球が太陽の周圍を何時迄も同じ回轉を續けてゐる

以上地上がどこも同じ氣候を持ち得ないことを知るのは、最も易しいことであらう。然し、吾々は其所に發生する樣々の事態を注意深く見る必要を感じないものだらうか?、人類は同意義を持つ言葉を持つて誰れもがひとしく話し得ない

各々が發生した國により異なる言語を持ち異なる風俗を持つ

其して其れらのものを左右するものは實に其れそれの地方が持つ氣候であり、自然が生んだ必要の變形的な形態のあらはれでしかない

現在の社會が資本家專制社會の變態的なもので有ることは否認するものでない

だが、こゝろみに僕は僕のよき隣人である、年老いたる祖父に資本主義なる言葉を持つて其の意味を問ふた

勿論、彼はその意味を解し得ない

彼はすでに時代をはなれた人間であるが故に、また僕は更に若き勞働者に同じことを聞いてみた

彼もまた其の言葉を解し得なかつた

彼は、今此の社會主義社會の重要な被さく取階級の一員として先進的な役割を持ち得なければならない一人である筈である

で更に僕は其の人に共產主義者の意味を問ふともつとも惡い人間のことで有ると答えた

磐城歌壇
新妻久滿夫選

白土和子

○師の君に文まゐらせん雨の日の、ガラス越なる木々の色濃き

○ゆつたりとあふれし春の河水の、面すれ／＼に燕は來る

○白き蝶ちら／＼飛びて背戸畑に、ペン／＼草の搖れ搖れあはれ

○雨霽れの庭に咲き滿つる花踏みて、小犬は馳せる木々を廻りて

○雨霽れし後の庭べに花もちて、つゆこぼし居るいちはつの花

○春嵐さと吹きしかば雨霽れの、櫻の花は雫し止まず

小評 作者は年少であるが仲々しつかりした型式と內容とを有つてゐる。將來純眞率直に歌を詠みつゝ正しい道を辿らむことを希望す

しらうを

梅探り得て磐石に腰据へぬ　光帆

春雨や部屋の草花たゞ白し　白馬

繩飛びの少女わめくや春の芝　雞流

スミレ摘む少女の前の揚雲雀　浮城

崖草の崩ゆる渡舟や水温む　日露子

春の日や人形の着物干しひろげ　吉郎

ビルは總てを知つてゐる (9)
小濱牧泉

『泣くんぢやない！人が嗤ふぢやないか』

見おろす行雄の聲は、冷たい由美子の涙にふれた。

見上げた由美子の濡れたまつげが、又どつと溢れる甘い涙にひた／＼とゆれて、くつ／＼と嚙みしめる嗚咽のまゝに行雄の腕に瞼をふせてしまつた

『やつぱりそうか！』

見おろしてゐた譲の血を吐くやうな聲だつた

『やつぱりそうか！』

悲しい微笑が彼の口邊を歪めて眸がギラ／＼輝いて

『やつぱりくるんぢやなかつたのだ！』

彼の頭髮は冬風にもつれて、もしやくしやな赤らんだ襟のあたり、冷たい風が通りすぎた

『一切が、さやうならだ、これが、これが本當だつたのだ』

涙が滂沱として頰を傳つた。泣くことは馬鹿々々しいことだとは知り乍ら一度せきを切つた涙は頰をとまらなかつた

彼は敢てそれをかくさうとはせずに暮れ行く故鄕の町を遠ざかり行く二人のかげを見送つてゐた

『これでいいんだ、これが本當なのだ……由美子よ、僕は今こそ君と別れなくちやならない、と共に、君あるが爲に行雄君あるが故に微かにつながれてゐた、俺とブルとの緣も、もうこれきりだ……行雄君、相反した利害と心を持つて眞の親友はあり得ないのだ。君ともさやうならだ……今こそ／＼俺とブチ・ブルとの最後の時だ』

寒げにふるへる屋上稻荷の神燈の下で

『一切よ、さようなら』

譲の伸びてゐる黑髮の下で新しい道をきりひらいて行く、その淋しさがいつまでも／＼拔けなかつた

『何の爲に來たんだ……故鄕を見る爲にか、忘れてゐた傷を探しにか！』

一切は知らぬ沈默のうちに消ゑて行つた

黑い眼鏡のかげに譲の涙腺が、ぼけてかすんでまつげがゆれて……

ほのぼの迫るうすやみの中で、淋しい／＼譲の微笑が散り果てた、くちなしの樣に力なかつた（完）

愛し子
武田專造

慕ひよる愛し子の
頰の冷たさよ
荒みし我が心には
たえられぬ悲しみのせむ
眞澄なる瞳もて
胸にすがれる愛し子の
汝がさゝやきに
泣かされてゐる愚なる我
かほそき我が腕にも
心安けくいぬれるか
愛し子の寢顏に
たわられぬ寂しさのせむ

社會の今日

5月16日 △楠公父子櫻井驛に訣別す（延元元）△幕府林子平を禁錮す（寛政四）△聖上松江市火災に千八百圓下賜（昭和六）△高橋藏相臨時兼任首相親任式擧行さる△内閣總辭職△全國各市場休會△『報知日本號』の吉原飛行士オークランドで試驗飛行中墜落、機は大破し氏も重傷△米國の船舶王ダラー氏死去（同七）△明倫會發會式を東京で擧ぐ（同八）

○

相組みて七俵の中に立ちすくみ、唯息つける腹の大きさ　花田比露思

淀川の嵐の茂りや五月闇　瓜村

講談 浪人長屋 (87)
日岐武志作　月草道子畫

暴風雨の夜

がまもなく、いづれへかへう／＼とまた風に吹かれていつてしまつた。

甚吉であつたが、誰も見たものはない

暮れかゝるにつれて、風は加はり、おまけに、雨を呼んで、全く暮れ落ちたころは、すさまじい、暴風雨となつてゐた

奧まつた部屋で、小花と老婆おむら、火鉢を圍んでゐた

『ひどい暴れ方だこと』

小花は、雨戸にばら／＼と吹きつける雨の音を、氣にしながらいつた

『ほんに、なんて暴れ方でございませう』

と、婆アやは、相槌して

『この分ですと。お靜さんは、戾られませぬね』

『さうね、泊つてくることでせうよ』

お靜とは、靜香のことである

かの浪人栗澤玄內のため老父孫兵衛が殺害されて以來、都築家に引きとられてゐた

『たまに、從姉の家に遊びに行つたのだもの、ゆつくり、遊んでくるがいゝ』

『ほんに、よく働くし、氣立てもいいし、あんなよい娘は少うございますね』

『よい娘です、今朝小菊を草津へ送り出すときも、靜香も一緒にやらうと思つたけれど、やつてしまふと婆アやとあたしだけになつてしまふのでね』

『ね、奧さま、お靜さんを鐵彌さまに娶合せなされては、いかゞでございませう』

『それは、あたしも、あの娘ならばと思つてをりますと。それに本人同志も、好いてゐるらしいしねホホホ』

『お似合ひ夫婦が出來ますよ。さういへば、鐵彌さまからは、いまだに、おたよりはございませぬか』

『あれから二月にもなるがいまだに江戸からのたよりはない。どうしたことやら

小花は、敵討ちに旅立つた我子鐵彌のことをおもふと案じられてならぬ

『ほんに、旅空で、どうしてゐることやら……』

と、うち沈む女主小花を婆あやは、わきから

『お若いが、しつかり者の鐵彌さまですもの間違ひはございませぬ、きつと目出度く本懷を遂げて、お歸りなされませう』

と、口ぐせに慰めてゐる

『眞にそうだといゝけどね』

戶外の暴風雨は、いまだにやまぬ

どう／＼と凄い雨音

ごうッと吼える樣な風音

『婆アや休みませう、あたしも直ぐ休みませう……』

『はい、では、お先きに休ませていたゞきます奧さまも、こんな晩は早うお休みなされませ』

老婆おむらは寢所へさがつていつたが小花は、それから、かなりの間そのまゝでゐた

夫源三郎の橫死……

鐵之助の行衞不明……

鐵彌から何のたよりもないことなど……

突然、雨戸を、どんどんとたゝく音がした

小花は、空耳だと思つたしかし今度は、はつきりとたゝく音がすると、靜香が若しや歸つたのでは、と思つて立上つた

雨戸を明けると――

吹きつける雨中に、片目の男がつッ立つてゐた小花はぎよッとした

廣告

技術本位 安心して御依賴下さい
時計修理
（小店員募集）
平才槌小路
高橋時計店

開業
診療科目
一、齒科一般 保存科、補綴科、繼續架工科 齒列矯正科、小兒齒科、齒槽膿漏科
一、口腔外科
一、レントゲン科
中野齒科醫院
院長 日本齒科醫學士 中野憲次
日本齒科醫學士 西川誠
平町田町（松月堂向と）電話五〇九番

◎有給外務員招聘
商品日掛販賣の權威
▽日掛けは金十錢以上金五十錢迄あります
▽六ケ月以上御掛けに成れば一ケ年分前貸致します
▽一ケ年御掛けに成れば年五分に相當する配當があります
▽明日と言はず今直ぐ御申込み下さい
平町南町一九 一德合資會社平支店
出張所 四倉町本町九九
代理店 湯本町三函三三

三七三！（ミナサン）
みつ豆の時節となりました。
御用命の際は電話三七三番へ。
みつ豆 金八錢
御試食の程を願上ます。
なべやき、支那そば
うむどん、生そば
四丁目 十一屋

生徒募集
◎ミシン裁縫、裁斷、教授
女性の一生を保護する趣味的職業として洋裁を知らねば恥の時代となりました
磐城洋裁專門學校 女子
●本校獨特の實際に役立つ斬新裁斷法
●實力主義で氣安く習へる個人的教授
●ミシン使用無料・材料貸與
平町白銀町十五番地
（詳細學則郵券二錢）

夜間診療
胃腸性病
內科 胃腸病科 花柳病科 性病科 皮膚科
專門
松村胃腸性病科醫院
（平町南町電一〇七番）

產科 婦人科 花柳病科
午前宅診 午後往診 入院應需
井坂醫院
平町田町（元合津醫院跡）電話五五九番

吸入用酸素 純度99%
度量衡 モノサシ マス ハカリ
体温器 寒暖計
◎秤ノ取緒・垂糸・修覆致シマス
關內藥局 電話四〇番

外科專門 X光線科
入院隨意（自炊の便あり）
病室完備
上田醫院
平南町 （電話一一九）

◎內科 ◎外科 ◎花柳病科
內臟一般外科
入院隨意 自炊の便あり
安齋外科醫院
平町田町赤心堂病院跡（電話四七五番）

店員募集
小店員 本年尋卒 仕着 月手當三圓
同高小卒 仕着 月手當五圓
外交員 二十才ヨリ三十才迄 五名
右至急募集ス 優遇 委細面談
各國產漆器 專門卸
共榮漆器店
平町三丁目三六

良品廉賣に勝る商略なし
磐城セメント特約代理店
金物問屋 和洋銅物
久 釜屋商店
磐城國平町五丁目
電話九番 九九番
振替貯金口座東京一〇九五六番
確實敏捷は久の生命なり

新綠薰風の明日から 非常時日本の壯丁檢査
郡下の該當者二千百八十名

本年度郡下（第五徵募區）壯丁檢査は既報の如く明後十七日より同三十一日迄（學科試驗は各前日）平第一校醫當の徵兵署で執行されるが受檢者數左の如く總數二千百八十名、內本籍適齡者千六百四十三名、同前年假決者六十三名、入寄留者四百七十四名である（四月一日現在）

日	町村	適齡	假決	寄留	計
17	大野	三八	二	一	四一
	大浦	五一	一	一	五三
	草野	四三	二	二	四七
18	四倉	五五	四	三	六二
	赤井	二三	一	九	三三
19	川前	二三	一	三	二七
	下小川	四〇	三	八	五一
	內郷	八六	二	—	八八
20	湯本	九四	八	三六	一三八
	平窪	三六	一	二	三九
21	小名濱	九九	二	三	一〇四
	神谷	五〇	—	—	五〇
22	永戸	五五	—	二	五七
	磐崎	五一	一	二〇	七二
	玉川	三〇	三	二	三五
24	高久	三六	—	一	三七
	好間	五六	二	六九	一二七
25	鹿島	二四	一	—	二五
	平	一三〇	三	—	一三三
26	入遠野	四三	一	三	四七
	夏井	四三	—	一	四四
	平	—	—	六三	六三
27	田人	三七	—	四	四一
	勿來	七五	二	一四	九一
	錦	三五	一	一	三七
28	上遠野	五一	一	五	五七
	江名	四四	三	三	五〇
29	山田	四三	二	二	四七
	植田	四八	一	六	五五
	泉	五六	一	三	六〇
30	飯野	四五	一	二	四八
	澤渡	五一	一	五	五七
	川部	三五	二	三	四〇
	渡邊	二一	—	二	二三
	豐間	四三	—	五	四八
31	內郷	—	—	一〇三	一〇三
	計	一、六四三	六三	四七四	二、一八〇

案外影響の少い郡產對米輸出品
今年も鮪油漬四千函見當

磐城水產工業株式會社では兩三年前より鮪油漬罐詰を米國へ輸出し價格の低廉と品質の優良とのために大いに好評を博し昨年度は日本全國より六十數萬函中同社より四千函を輸出したが關稅引上輸入制限等對米貿易上に一變調を來した爲之が撤回交涉委員が渡米したが遂に不成立に終り今年度の輸出は約三十五萬箱位と見られて居るが水工では大体昨年同樣四千函を輸出する事になるだらうと語つて居る尙ほ當局では制限に抵觸せざる程度の罐詰を考案中であり之が解決の曉は輸出上一新生面を開く事となるべく尙右輸入制限のため米國に於ては原料のビンチヨウ鮪に不足を來し我國の冷凍品を需要する關係上相當の高價を豫想され各漁船はこれが漁獲に努むるものと觀られてゐる

磐炭 入山 二分增配豫想
事業界の活況に惠まれ 好影響を全面的に滿喫

昨年來の一般事業界の殷賑は殊に軍需工業纖維工業方面における石炭需要の記錄的激增に伴ひ內地石炭株は未曾有の活況を謳歌し石炭各社は前期既に一二分の增配を行つたが今期においては右事業界の活況による好影響を全面的に滿喫し得たる上に更に冬季渴水による電力用炭の增加といふ特殊的材料を加へ各石炭會社の業績は一段と好轉し各社とも更に二分內外の增配を決定してゐる、今四、五月決算の各社今期業績を見るに左の如くである

（單位千瓲、千圓）

△磐城炭鑛（五月決算）

出炭高 四四〇 增 五四
賣炭高 四〇〇 增 四二
賣炭金額 三、三五〇 增 三八七
配當（豫想）七分（二分增）

△入山炭鑛（五月決算）

出炭高 二三八 增 二四
賣炭高 二三〇 增 二七
前收入において四十三萬圓の純益をあげ利益率は二割餘に達してゐる
配當（豫想）七分（二分增）

平町會招集
廿日採掘問題附議

磐炭出願の平町地下採掘に對する仙臺鑛山監督局への答申を決する地下採掘調査委員會は昨十四日午後一時半より役場會議室に開催『平町地下採掘は公益上支障あると認め反對の答申をすべし』と決定、同三時閉會したが來る廿日本會議を開くと

師範教生見學

縣男子師範一部本年度第一期教生三十三名は同校主事幸野岩雄、訓導星正治兩氏引率の下に二十二日來平、磐炭綴坑見學の上一泊、二十三日平第二校、植田校、小名濱港、二十四日小名濱校、泉農業公民校、同村篤農家二十五日大野校を見學すると

女子中堅農民講習生見學
郡下の模範泉村へ

石城郡農會では既報の如く女子中堅農民講習生の勸誘に努めて居るが現在で夏井三名、神谷、草野各二名合計七名に上つたので來る十九日青山技師引率の下に郡下の模範村である泉村の實行組合溫室其他農事方面の見學を行ふ事になつたと

產組獎勵協議

產業組合中央會福島支會では擴充五ヶ年計劃第二年度たる本年度に縣下の未設置町村の組合設置に主力を注ぎ信用事業を主とする擴充協議會を開催する事になつたが本郡下の分は來る廿四日平町農業倉庫に於て開くと

磐城海岸軌道更生
舊債償還＝新規計劃＝ 着々順調に推移

磐城海岸軌道株式會社では目下鐵道省古川計理士により舊來の事務監査を受けつつあるが同社は草野良太郎氏社長に、西丸猛氏支配人就任以來社內の充實を計り面目一新の更生途上を步みつつありその伸展振り眞に目覺しく從來往々あつた給料未拂問題も現在は皆無なるのみならず以前の未拂賃銀に對しても夫々適當の對策を講じつつあり、其他商店の借財、鐵道省への連帶運輸金の未拂等も昨年邊りより弗々之が返濟に努め連帶運輸金は昨年度に於て約三千圓を納入した、尙今年は未だ確定の運びに至らないと、更に同會社では小名濱町の商港完成と共に同軌道を電化すべき意圖にあるらしいが未だ積極的な運動は開始して居ない模樣である

二十九聯隊 凱旋記念道場建設
郡下に寄附金割當

若松步兵第二十九聯隊では凱旋記念の爲劍術道場を建設する事になつたが本郡の割當額內譯左の如く合計九百二十九圓二十錢である、尙平町では在軍分會で募集に着手したと

泉一九四二五錢 渡邊八、七〇 植田三二、七五 山田一五、六〇 錦一七、五〇 勿來三六、〇〇 上遠野一九、八二 入遠野一七、〇五 川部一七、二〇 田人二〇、三〇 平一六〇、二〇 飯野一二五、五〇 夏井一二、七〇 高久一一、五五 豐間二一、一五 江名二七、四〇 鹿島八、九〇 小名濱五九、四〇 玉川一一、四〇 磐崎二二、八〇 湯本三九、六〇 內郷七七、五五 好間三七、九五 赤井二四、四五 永戸一三、八六 三坂一五、八七 神谷一五、五五 草野二二、二五 大浦二一、一五 四倉三九、六〇 大野一七、二〇 平窪一四、二〇 下小川一九、三〇 川前一五、五〇 計九二九、二〇

龜裂現場附近の苗代二坪一尺五寸沈下
平窪の農民再た愕く

既報―平窪村大字上平窪字君ヶ澤管地內水田の龜裂は其後擴大せず、關係農民も小康を得て居たが昨十四日早朝龜裂現場の傍である苗代約二坪が約一尺五寸程沈下して苗が冠水して居るを發見、直に應急處置をとつたが今後擴大すれば苗の發育を阻止するばかりでなく田植にも影響するのではないかと不安にかられて居る

。。。。。濱三木炭出陳 隣接五縣參加新潟山林會主催、林產共進會は來る八月廿三日より七日間高田市大平町小學校で開催されるが縣下の出品は濱三郡組合四、福島二、會津七〇、縣南三五、田村二五、合計一九〇俵である

健康女性日本
從來に無く朗かな 櫻ケ丘の體格檢査成績

磐女校では此程全校生七百九十二名に就いて體格檢査を執行したが呼吸器疾患などと忌はしいものは全々皆無といふ健康体で又每年非常に多數で係員を呆然たらしめたトラホーム患者も本年は三十名といふ朗かな減少を示し患者に對しては治療券を與へ最寄醫師によつて治療せしめ絕滅を期してゐる

。。。。。草野校女教員見學 一行六名は本日平第三小學校を見學した

古川視學視察

古川縣視學は明十六日來平、十七日より左の日割りで郡內小學校を巡視する

十七日錦、山田、十八日川部、勿來尋高、十九日勿來尋高、廿一日田人、廿二日上遠野、入遠野、廿三日泉、渡邊、廿四日江名、豐間、廿五日小名濱、廿六日平第三

早慶の巨人を迎へ湯本で球場開き
地元の十チームが參加 硬式の覇を爭ふ

失業者救濟事業として竣功した湯本町營グラウンド落成式は愈々來る廿四日擧行廿六、七の兩日に亘つては早稻田、慶應兩大學の新人チーム各十五名を招聘、日立、小名濱內務省、磐中、中商、全平、磐炭其他地元合計十チームを合せた硬式野球大會を催す事になつたが入山炭鑛ではこれを記念する爲經費六百五十圓で磐中より稍々大きなバツクネツトを寄附する事になり此程基礎工事を了したと、尙同町野球聯盟協會では今後も地ならしの爲各方面の對抗野球を行ふ豫定であると

祝賀運動會
湯本校の增築落成

尙湯本校では前記グラウンド及び二棟十四教室の增築が落成したので二十五日これが祝賀の郡內小學校兒童運動會を催すが平第一校からは篠山校長、橫田、瓜田、佐藤、井上各訓導引率の下に五年以上四名宛計十六名の選手が出場すると

第一校遠足

平第一校では來る二十五日の月次運動會には左記各方面に遠足を行ふ

尋一―飯野八幡宮から公園 二―飯野村谷川瀨山 三―同龍門寺 四―神谷村公園（小學校裏） 五、六―草野村赤沼浦 高一二―草野村御殿浦

三寶保育園落成慶讚式
來十八日擧行

過般來四倉町本町に建築を急いで居た三寶保育園は過般竣功先月一日より保育を開始して居るが來る十八日午前九時より（月影二唱）一同（慶讚法要）導師 磐城教務所長名木橋秀天（經過報告）三寶保育園主阿部崇順（挨拶）創立後援會代表町長新妻盛、顧問代表前衆議院議員木村淸治（祝辭）（祝賀講演）東京傳通會館主事井草幼稚園園長鈴木積善、大正大學教授海軍大學教授佐山學順（園兒の唱歌遊戲）の順により落成開園慶讚式を擧行午後二時半よりは尋常三年以下の兒童大會を催すがプログラム左の如し（君ケ代二唱）司會者小高鈴明、一同（ごあいさつ）園長阿部崇順（唱歌遊戲）園兒（おはなし）鈴木積善（唱歌遊戲）園兒（おはなし）川崎小鳥（遊戲）

平から―滿洲へモシモシ
縣內では郡山と二ヶ所 七月から國際電話開通

國際電話の嚆矢日滿內地臺灣間の國際電話開通案は愈々臺灣へは來月十日より滿洲へは七月八日より開通する見込を得るに至り之が取扱局を詮衡中であつたが設備、技術の兩方面より縣內にては郡山局と共に平局が加へられることに此の程決定

公衆電話料
一年に約四十圓

平局常設公衆電話の昨年度中の成績は左の如くで案外の不成績であつた

	市內	市外	料金
驛前	三九一	九四	三二、三六
胡摩澤	一〇六	九	六、八六
合計	四九七	一〇三	三九、二二

スリ十六回
小名濱の手長捕る

當時小名濱町沖見居住茨城縣多賀郡松岡町手綱生れ鈴木富雄（三二）は昨年八月頃より小名濱劇場前に於て歸り客の懷中より前後十六回に亘つて合計七十餘圓のスリを働き平署に檢擧、餘罪ある見込みで嚴重取調べを進めて居ると

面妖な畫を賣る エロ外交員を檢擧
箕輪村の駈落ち男

箕輪村百目木高萩依宜（四〇）は去月廿九日子迄ある夫を捨てた同村高野高野ひさ子（三三）と手に手を取つて樺太に落ち延びた如く裝ひ東京に高飛び本郷區橋町三丁目第一騰寫堂外交員となり澄まし去る一日來千葉縣下へ出張したが賣れ行きが惡いので春畫を描いてこれを倂に賣り步いて居た事判明此程檢擧今十五日平署に通知あつた

前借踏倒し

田村郡三春町料理業榮家事中山淸方抱酌婦西白河郡矢吹町關根ナミ（二〇）は昨年五月二十日前借二十圓で住込んだが借金の嵩むのと勤めが辛く昨十四日逃走したのを昨夜中驛で取り押へ抱主に引渡した

浮◇世◇種◇々◇相

材木町の小火

今十五日午前零時半頃平町材木町蒲鉾製造業大鶴屋事金成泉一郎方工場より發火したが湯本町三函座より自動車で歸りがけの平館員が發見直に自動車で附近を呼び起したので大事に至らず鎭火した、原因徒弟の煙突不始末

。。。。。木曾便乘者決定 來る廿六日簡閱點呼に來郡の軍艦木曾便乘者につき平町では昨十四日午後抽籤の結果希望者六十一名中小名濱―鹽釜間十五名、平潟―小名濱間七名を選定した

第二校外取締役員

第三小學校では昨十四日左記の如く校外取締役員を任命した

第一區（鍛冶方面）尋六―金成桂一、入江正義、安藤力、白土貞子、川崎初子、張文子、尋五―寺門武彥、靑木敬之、猪狩俊夫、影山サト子、平野井美津子、鈴木文子

第二區（立町）六―橘久、橘榮一郎、橋本章、鈴木勝江、小野寺正、關根セキ、五―佐藤喜代治、齊藤市太郎、菅野榮、西郡絹子、永山サト、鈴木照子

第三區（禰宜町、手搦町）六―竹村彌實、中川仁、上野忠信、佐藤カツ子、高橋てる、木崎キサ、五―藤田信藏、小松仲太、本阿彌孝悅、圓谷文子、龜田千鶴、工藤甲子

第四區（四、五丁目）六―仁平敏雄、田中賢治、吉田義男、小菅正子、佐々木スヱ、荒川瑞子、五―井上明、笠原弘、丹野榮壽、志賀綾子、酒井富貴子、酒井貞子

第五區（大工町、白銀町）六―多田井懲雄、櫻井勝美、武田省三、綱干テル、玉木勝子、館門テル、五―倉谷敬、高橋一三雄、弟子丸健一、織田マサ、永島佳子、小林ツヤ子

第六區（新川町、堤の內）六―松崎惣兵衛、今田賞、久保木淸次、生田目千枝、小澤ミキ、新妻ハル、五―吉田眞一、山本六郎、鈴木剛二、野澤登紀枝、江尻朝子、林淸子

第七區（月見町）六―渡邊辰夫、高木勝平、大谷喜尙、林淑子、秋山園、小川しも、五―半澤芳男、江尻一、諸橋金彌、山崎恒代、橫山安子、靑木安子

第八區（大町、南町）六―鈴木芳雄、渡邊六郎、小野勞、三森信子、今野コト、林光子

平局昇任辭令

十二日付左記の如く平局內に昇任異動があつた

任通信書記 書記補 白石歲市
任通信書記補 大野武男

書道展

平町胡摩澤書道研究磐書會では來る二十日マルトモホールに於て古今名家の作品數十點の書道展覽會を催すと

。。。。篠山校長出福 縣教育會各郡市部會長及び支會長會議は既報の如く今十五日福島市教育會館で開かれたが篠山平第一校長は部會長に代り出席した

。。暴行 泉村大字泉字八木屋二〇高橋與次郎方土工舟生仁（三三）は舊臘十六日泉驛構內で些細の事から刄渡り二尺六寸の日本刀で內郷村大字宮字金坂六大友寅吉方土工近藤丹三郎（四〇）に背打ちを食はせ暴行罪で此程平區より略式罰金二十圓に處された

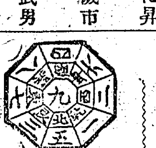
誤叱府

昨報の盲人大會で議事に要した時間がザット四時間餘半ば懇親のお花見宴會を主題とする他方面の大會と大に趣を異にして居るが◇その原因と云ふのは勿論議案の檢討に大事を取つた故もあるが其れよりも『議長誰それ』と發言を求めると『イヨー、來て居たのか、しばらくだつたなあ』なんて見しらぬ身の聲の狼火で初めてそれと知り其の都度其所彼所から久潤を敍するのが出て來たりする爲、議長の舘春榮さんも之の整理には一方ならず骨が折れた樣だつたと◇一行は沼の內辨天池で麩をパク付く音に魚の大きさを。脚下に湧く波の音に自分らの起つ燈臺所在地の高さなどを聽學（？）―大會を了つて夫々引き上げたが不自由な人々の大會として近來涙ぐましい集りであつた

弘法大師千百年祭
福島縣支部四倉如來寺
牡丹觀覽會團体募集
會期 五月二十日（日曜日）
會費 金一圓三十錢
平、四倉片道汽車賃、料理、壽司折詰、瓶酒、護摩札付
申込所 胡摩澤佐藤寬三、四町目ト印、三町目阿部源、田町初音、南町玉よし、二町目魚淸、一町目藤寅

諸判定處鑑 東京市本郷區湯島四丁目五番地 高島易斷總本部 神宮館

▲一白の人 打撃を蒙るべき日計畫ありとも進むは不利▲二黑の人 進んで損せず退きても益ある日吉凶移轉吉▲三碧の人 離反常ならず損益一方にへんする兆あり注意▲四綠の人 信じて行へば難事も通達すべき至極幸運日▲五黃の人 華器は薄紙を隔つるが如し方針を誤らば凶▲六白の人 辛苦は體力の堪ゆる所にあらず他力を仰げ▲七赤の人 進言容れられず不愉快に終る日短慮を戒む▲八白の人 迷ひを捨て勇氣を奮ひ決行すれば望を達す▲九紫の人 意氣大に揚り物事熱心なれど進まぬが安全



舊四月四日 水曜 丁亥 先勝 破 壁宿 新五月十六日

十六日
日出 四、三六 月出 前 六、〇六
日沒 六、三九 月沒 後 九、二六
滿潮 前 五、四〇 後 八、一〇
干潮 前 〇、二〇 後 〇、五〇